

遺品の中からの地域資料採掘

「デジタルアーカイブ化への前工程を、地域の人たちと協働する」の中間報告。

～Google PhotoとNDLデジコレがなければ、とっくに挫折していた～

2026.1.9

石田茂富（岐阜女子大学大学院 通信課程休学中）

自己紹介

石田茂富（イシダモトム）

1961年、東京生まれ。大学では、教育社会学を学ぶ。

1985年、広告会社に就職、広告制作や組織マネジを35年

2020年、早期退職して、父母祖父母の大量の遺品整理に着手。

（所在地は東京池袋と愛知県岡崎。2地域居住へ）

2021年、遺品整理に役立てるため、

岐阜女子大大学院のデジタルアーカイブコースへ。

2年留年ののち、現在2年間の休学中。

きょうのアウトライン

- 1 ・ 遺品整理とは、何をしているのか。
どう進めようとしてきたのか。
- 2 ・ 行き詰まる。ある日玄関から転機が。
- 3 ・ いきなり利活用から入る、への転換。
- 4 ・ これからどうする？
アウトプット目標と、大雑把な計画。
- 5 ・ いま感じている課題。

きょうのアウトライン

- 1 ・ 遺品整理とは、何をしているのか。
どう進めようとしてきたのか。
- 2 ・ 行き詰まる。ある日玄関から転機が。
- 3 ・ いきなり利活用から入る、への転換。
- 4 ・ これからどうする？
アウトプット目標と、大雑把な計画。
- 5 ・ いま感じている課題。

もともと蒐集癖のあった、郷土研究家
(かつ、博物館人・仏教考古学者)



石田茂作の遺品群 (1894-1977)

遺言的な著作の中で

「郷里の家を保存し、蒐集品を地域の研究者のために公開する
郷土資料館にしたい」と、祖父

45年後

「資料館は無理でも、デジタル資料館なら…」と、私

2020年から着手。翌年、岐阜女子大学大学院 通信課程 デジタルアーカイブ専攻へ…

もともと蒐集癖のあった、郷土研究家
(かつ、博物館人・仏教考古学者)



石田茂作の遺品群
(1894-1977)

漠然とした遺品整理イメージ

「段ボールをコツコツ開いていけば

そのうちに…」

もともと蒐集癖のあった、郷土研究家
(かつ、博物館人・仏教考古学者)

石田茂作の遺品群
(1894-1977)



当初のプロセスイメージ

- ①遺品を整理して、
- ②デジタル化して、メタデータ付けて
- ③アーカイブ公開して、
- ④地域研究者に利活用してもらう

もともと蒐集癖のあった、郷土研究家
(かつ、博物館人・仏教考古学者)



石田茂作の遺品群 (1894-1977)

想像以上の量、
こっちはシロウト...

東京

未出版書籍

考古学者/博物館人としての
書籍・論文や
研究資料やノート
蒐集品や著作物や交友関連品

父の遺品

親族の遺品

愛知

郷土資料
(20項目に分類された蒐集品)

書画、陶磁、茶道具
岡崎趣味会、矢作橋、地域伝説...

築180年の旧宅とモニュメント
(祖先ゆかりの家を残したい)

仏壇と親戚祭祀記録
百年前の...

ぜんぜん終わらない...無理かも

1 ・ 遺品整理とは、何をしているのか。
どう進めようとしてきたのか。

2 ・ 行き詰まる。ある日玄関から転機が。

3 ・ いきなり利活用から入る、への転換。

4 ・ これからどうする？
アウトプット目標と、大雑把な計画。

5 ・ いま感じている課題。

転機

ある日、ピンポンが鳴る。どちら様？



矢作橋の
普請資料を
お持ちですか？

矢作橋の研究者
(愛知県職員)

宮川洋一さん

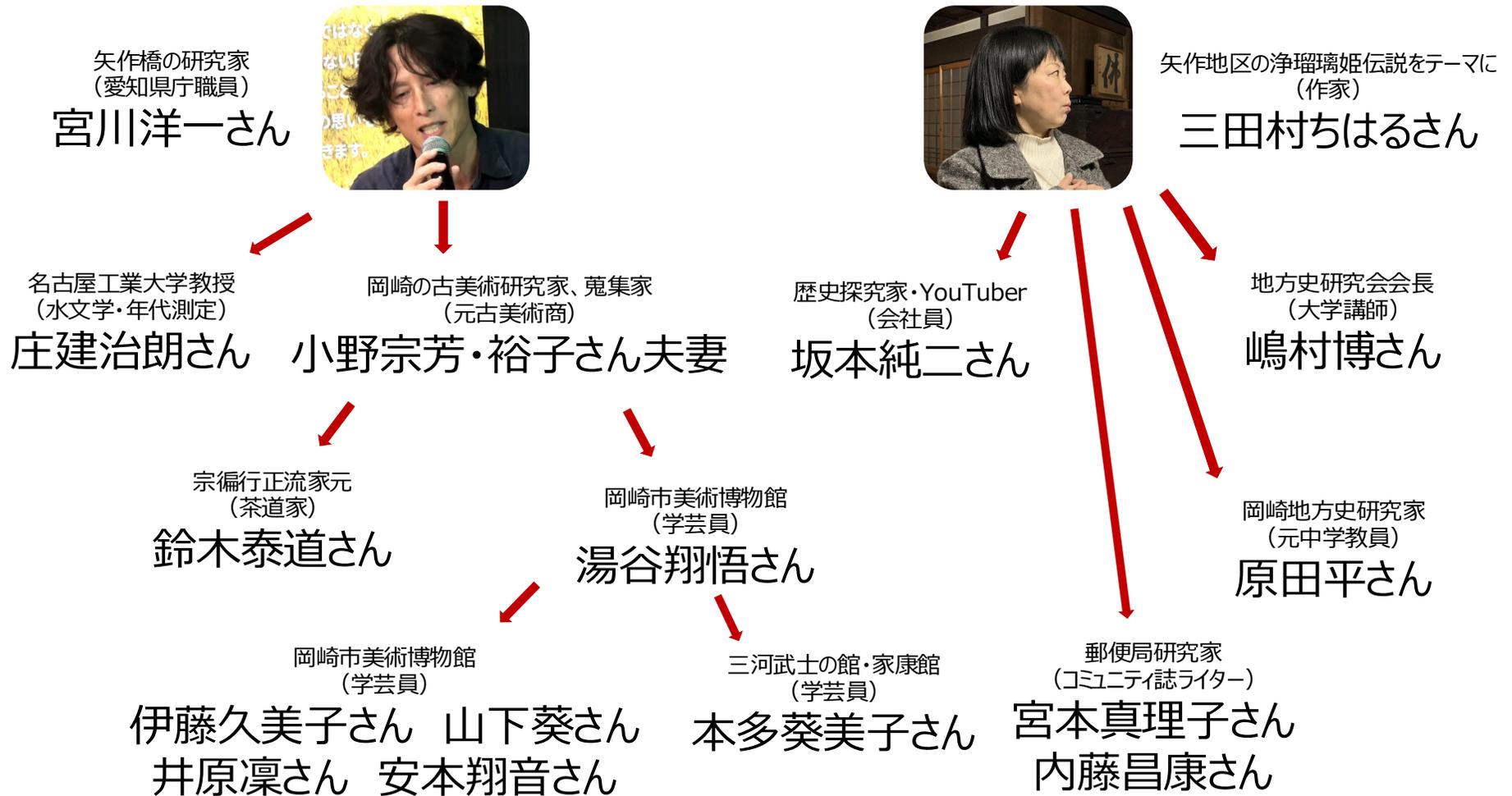


このお宅を
壊さないで
欲しいのです…

矢作地域の歴史研究者
(作家・主婦)

三田村ちはるさん

研究テーマを持っておられる方々とのご縁 求められる資料を遺品から探し、見せ、整理



研究テーマを持っておられる方々とのご縁 求められる資料を遺品から探し、見せ、整理



岡崎市美術博物館
学芸員のみなさん
↓↑
保管部屋単位で
資料開封と記録



岡崎地方史研究会
嶋村博会長
↓↑
岡崎趣味会資料



宮川洋一さん
↓↑
矢作橋関連資料



宗徧行正流家元
鈴木泰道さん
↓↑
宗徧流関連資料



元古美術商の
小野夫妻他
↓↑
浮世絵関連
郷土歌人俳人
関連資料



郵便局研究家
内藤夫妻
↓↑
曾祖父の家業
郵便局関連資料

著作以外の資料リストは、岡崎市美術博物館のフォーマットで作成

× [20250616更新] 石田茂作旧家資料リスト.xlsx																						
アプリで開く																						
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q					
1	種別	番号	収蔵場所	資料名	作者	時代	制作年	月	日	員数	形態	形態2	状態1	状態2	附属品	備考	旧ラベル					
2	01	001	B-1	彼岸日中箱・写		明治16年	1883				1	軸	紙木印刷	並	並	木箱		—				
3	01	002	B-1	色紙懸							1	軸	木紙無し	並	並	木箱		—				
4	01	003	B-1	観音大士面賛	大運(昌光律寺)						1	軸	紙木墨書	並	並	木箱、巻止	箱表「大雲和上筆観音大士面讚」、箱裏「〇〇大座」	072				
5	01	004	B-1	速磨面賛	大運(昌光律寺)						1	軸	紙木墨書	並	並	木箱、書付1	書付「大座老沙弥 遺品 昌光律寺 石田様」	073				
6	01	005	B-1	墨蹟「畫心」	三島海雲						1	軸	紙木墨書	並	並	木箱、紙箱、紙1	三島海雲はカルピス株式会社の創業者。石田茂作	060				
7	01	006	B-1	石田茂作母・つま像	秀壁力						1	軸	紙木墨書	並	並	木箱、紙箱、紙1	「行雲妙願浄心大師は茂作母つまの戒名					
8	01	007	B-1	畫作図	華隣						1	軸	紙木着色	並	並	木箱		050				
9	01	008	B-1	墨蹟「山嶽花欲燃」	三宅米吉						1	軸	紙木墨書	並	並	木箱	三宅米吉(1860-1929)考古学者、石田茂作の先生	067				
10	01	009	B-1	和歌懐紙「秋葉映水」	熊谷直好						1	軸	紙木墨書	並	並	木箱	箱横A「熊谷直好筆 懐紙 横幅 紅葉映水 寸号 兵	059				
11	01	010	B-1	紅蓮青島図	奥田誠一						1	軸	紙木墨書	並	不良	木箱	箱横「奥田誠一筆 紅蓮青島之図 横物<印>」+赤	057				
12	01	011	B-1	墨「泉滑々...」	安倍能成						1	軸	紙木墨書	並	並	木箱	安倍能成(1883-1966)帝室博物館館長・国立博物	—				
13	01	012	B-1	初夏晩桜図	清水玉琴						1	軸	紙木着色	並	並	木箱		—				
14	01	013	B-1	虎溪三笑図	不折						1	軸	紙木着色	並	並	木箱		—				
15	01	014	B-1	青緑山水図							1	軸	紙木着色	並	並	木箱、巻止		—				
16	01	015	B-1	一光三尊普光寺如来図							1	軸	紙木着色	並	並	木箱、巻止	八世石田茂右衛門(清養浄光庵主)は、茂作の父	081				
17	01	016	B-1	石田家八世茂衛門肖像	大運(昌光律寺)						1	軸	紙木着色	並	並	木箱		—				
18	01	017	B-1	墨葉面讚							1	軸	紙木墨書	並	並	木箱		—				
19	01	018	B-1	墨蹟「世事...心事...」	佐藤一斎						1	軸	紙木墨書	並	並	木箱	二行。「昭和四十年九月廿一日 瓦礫洞人〇」。佐藤	077				
20	01	019	B-1	舌切雀俳撰	巖谷小波						1	軸	紙木着色	並	並	木箱	巖谷小波(1870-1933)、児童文学者。石田茂作の	055				
21	01	020	B-1	初日出之図	二世 五姓田秀柳						1	軸	紙木着色	並	並	木箱	二代目 五姓田 秀柳(ごせだほうゆう、1884-1943)	085				
22	01	021	B-1	大唐樓閣図							1	軸	紙木着色	並	並	木箱	右軸先欠。箱裏裏「大正八年己未四月為授戒会紀	083				
23	01	022	B-1	木蓮面賛	石田茂作						1	軸	紙木着色	並	並	木箱		065				
24	01	023	B-1	墨蹟「教育之誦」	甲南 高納治五郎						1	軸	紙木墨書	並	並	木箱 巻止		073				
25	01	024	B-1	墨蹟「赤壁賦一節」	柴野栗山						1	軸	紙木墨書	並	並	木箱 巻止		052				
26	01	025	B-1	鳥嶋宗乙書状	鳥嶋宗乙						1	軸	紙木墨書	並	並	木箱		056				
27	01	026	B-1	春日之図	文翠						1	軸	紙木墨書	並	並	木箱		070				
28	01	027	B-1	阿弥陀三尊未廻図							1	軸	紙木着色	不良	並	木箱 巻止		075				
29	01	028	B-1	墨蹟 漢詩「蓬萊山上列仙宮...」							1	軸	紙木着色	並	並	木箱		080				
30	01	029	B-1	墨蹟 漢詩「蘭君高掛去...」	細井平洲						1	軸	紙木墨書	並	並	木箱 書付1		076				
31	01	030	B-1	墨蹟「花朝月夕隨時楽」	大運(昌光律寺)						1	軸	紙木墨書	並	並	木箱		066				
32	01	031	B-1	絵巻雀図	秋稻文史						1	軸	紙木着色	不良	並	木箱 書付1		061				
33	01	032	B-1	墨蹟「紅粧十意打紅粧...」	松本堂堂						1	軸	紙木墨書	並	並	木箱 包紙 書付1	032-2附属品有。近代資料。冊子2冊。	053				
34	01	033	B-1	秋ノ山水図	梅齡						1	軸	紙木着色	並	並	木箱		071				
35	01	034	B-1	応仁天皇図	管岸						1	軸	紙木着色	並	並	木箱		078				
36	01	035	B-1	墨蹟「福」	大運(昌光律寺)						1	軸	紙木墨書	並	並	木箱		074				
37	01	036	B-1	墨蹟「舞妓のうた」	相沢春洋		1936	7			1	軸	紙木墨書	並	並	木箱 巻止	朱書きあり	082				
38	02	037	B-4	一行書「難何老嗟嘆」	八十翁龍溪						1	軸	紙木墨書	並	並	木箱		016				
39	03	038	B-4	短冊							54	短冊	紙木墨書	並	並	木箱		014				
40	04	039	B-4	短冊							1	短冊	紙木墨書	並	並	木箱		015				
41	05	040	B-4	模造品 田能村竹田 牡丹							1	—	—	良	良	—	写真たてか	—				

Google Photo で中間プロセスを共有する

Google Photo で写真共有。教わった情報、調べた情報を、「情報」欄にメモしていく。



「情報」欄にメモや翻刻
※検索できないのが残念

- 1 ・ 遺品整理とは、何をしているのか。
どう進めようとしてきたのか。
- 2 ・ 行き詰まる。ある日玄関から転機が。
- 3 ・ いきなり利活用から入る、への転換。
- 4 ・ これからどうする？
アウトプット目標と、大雑把な計画。
- 5 ・ いま感じている課題



当初のプロセスイメージ



- ① 遺品を整理して、
- ② デジタル化して、メタデータ付けて
- ③ アーカイブ公開して、
- ④ 地域研究者に利活用してもらう



~~当初のプロセスイメージ~~

利活用してもらい
ながら整理する



④地域研究者に利活用してもらおう

①遺品を整理して、

②デジタル化して、メタデータ付けて

③アーカイブ公開して、

時間かかっても、楽しくなればいいか…

求められるものを、求める人に共有しながら、

教わったこと、調べたことを、付け加えていく。

資料を見たり、触ったり、話をしたり、聞いたり。

楽しめる場所になれば、楽しむ人が集まり、

結果として「保存」や「利活用」が続けられる？

結果としてデジタルアーカイブもできあがる？

目標。資料を楽しむ体験ができる場所にする。

- 1 ・ 遺品整理とは、何をしているのか。
どう進めようとしてきたのか。
- 2 ・ 行き詰まる。ある日玄関から転機が。
- 3 ・ いきなり利活用から入る、への転換。
- 4 ・ これからどうする？
アウトプット目標と、大雑把な計画。
- 5 ・ いま感じている課題。

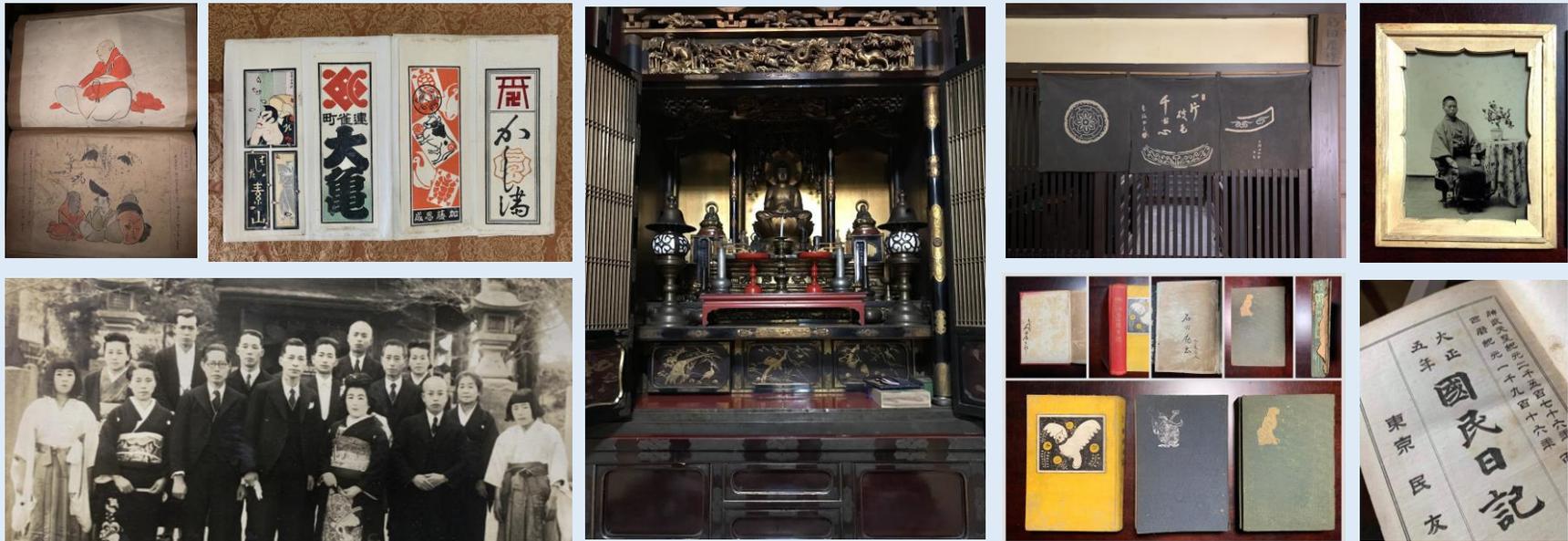
遺品整理の「中間点」としての ＜私のご先祖様展 石田ファミリー版＞

2026年夏 近親近隣公開（予定）

Google Photo版も公開（予定）

2027年夏 やや一般公開（予定）

親族祖先の遺品や関連地域資料を、旧宅に展示&GooglePhoto公開してみる



※島田美術館（熊本県）の「私のご先祖様展」がとてとても魅力的だったので、同館のみなさんのお許しをいただいて、ほぼ同企画のプライベート展を計画することにしました。

参考 2018.10-11「御先祖さま展」@島田美術館 / 2023.10「私のご先祖様展 # 2」@島田美術館

今後の進捗イメージ

2026

1月 D.A.学会研究大会「地域アーカイブ部会」企画セッションで報告

7月 石田茂作五十回忌「私のご先祖様展」(石田茂作旧宅：近親と近隣に公開)

9月 Google Photoアルバム版「私のご先祖様展」テスト公開(卒業制作も兼ねて)

2027

7月 石田茂作没後50周年「私のご先祖様展」(一般公開版)

2028

資料整理や保存や記録のプロセス
に希望者が参加できるようにする

東京にある研究者時代の資料や
書籍や収集品の整理に着手する

2029

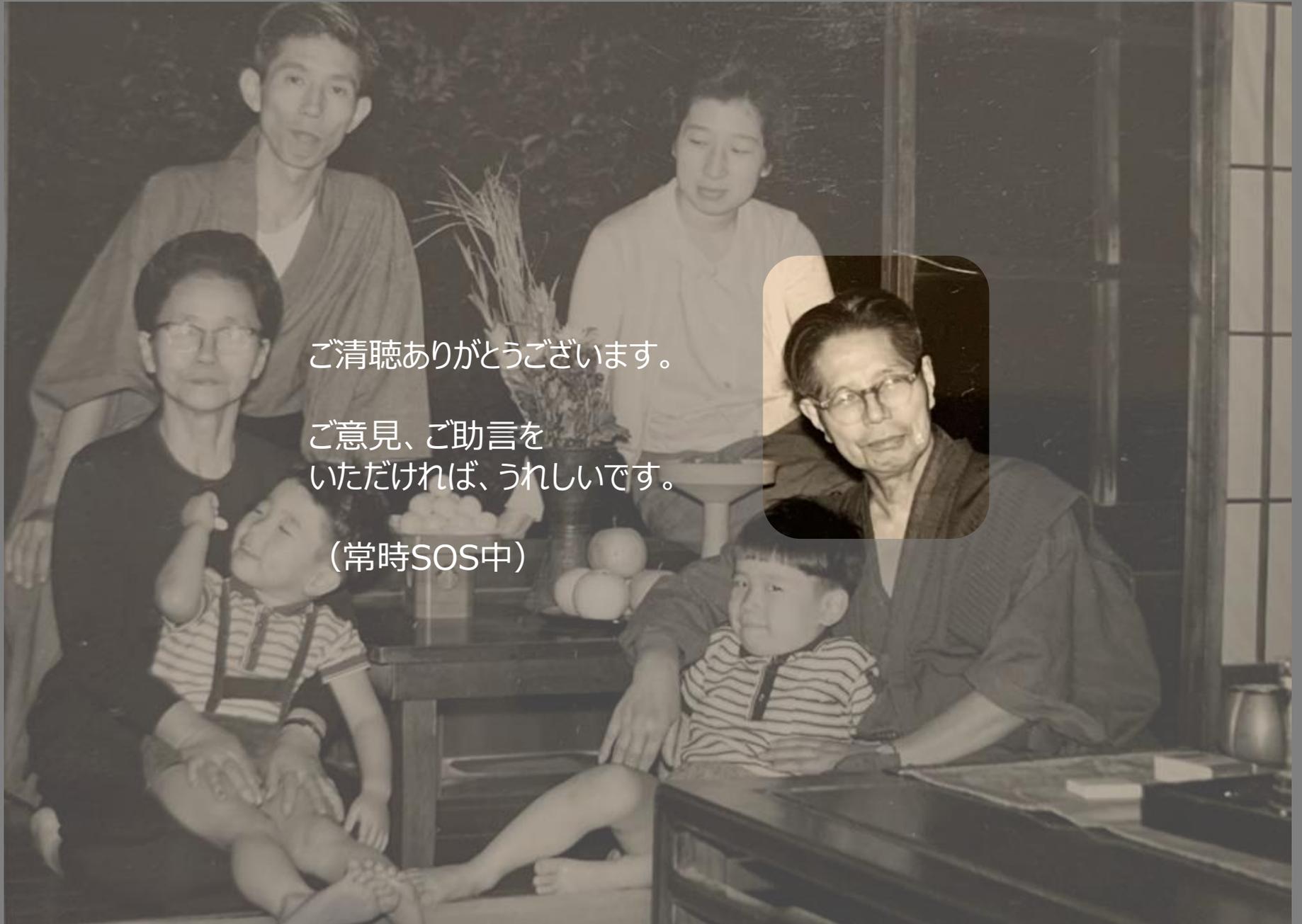
維持コストを賄う収入の道を
考えてトライ&エラーを重ねる

2030

- 1 ・ 遺品整理とは、何をしているのか。
どう進めようとしてきたのか。
- 2 ・ 行き詰まる。ある日玄関から転機が。
- 3 ・ いきなり利活用から入る、への転換。
- 4 ・ これからどうする？
アウトプット目標と、大雑把な計画。
- 5 ・ いま感じている課題。

いま感じている課題

- 1 ・ 個人蔵品をネット公開することへの抵抗感（とくに防犯面）
「周囲の協力者にだけ公開」のままでいい？
- 2 ・ 個人情報を含む地域資料の扱い。廃棄か、非公開で保存か。
とくに、ネガティブな情報を含むものの扱い
- 3 ・ 寄贈や寄託のメリットと、自家所蔵のメリットと。
資料を手放した旧宅、資料を残した旧宅、どう違う？
- 4 ・ 維持コストを賄う収入の道はあるか。なんとかしないと。
高野山の宿坊で聞いた「宿泊いただいたお代をお寺の保存修理に」
- 5 ・ ありがたいGoogleインフラ。重度依存でスイッチしづらい...



ご清聴ありがとうございます。

ご意見、ご助言を
いただければ、うれしいです。

(常時SOS中)